



# 武庫の宝

令和7年 12月



三田市立武庫小学校長 大向 勲

11月。音楽会が終わり、休む間もなく次の子どもたちにとっての大好きなイベントの準備が始まりました。「武庫フェスティバル」通称「武庫フェス」おそらく、保護者の皆様も小学生の頃、学校全体でお祭りのような、クラスごとにお店を出して楽しむ活動があったのではないのでしょうか。毎年行われる「武庫フェス」。2学期になってから各クラスで話し合いを行い、11月初旬の代表委員会をもって本格始動します。朝、校門に立っているとなぜか増えてくる段ボールを持ってくる子たち…「武庫フェスの準備に使うんだなあ」子どもたちの様子はとてもウキウキしているようです。近づいてくるにつれて、校内には各クラスのポスターや飾りつけが掲示され、前日ともなるとその準備に余念がありません。

当日朝の子どもたちの様子は、「楽しみで仕方ない！」という気持ちがあふれていました。

すべての教室を回りましたが、各クラスそれぞれが、私が担任をしていたころには思いつかないようなアイデアや出来栄えに驚くばかり。そして何より感じたことは、お客さん側の子どもたちはもちろんうれしそうですが、お店をしている側の子どもたちの表情がとにかく素敵なんです。幸せな笑顔で満ち溢れている。楽しんでもらえるのがうれしい！それを全身で表していました。

ある本で、「神様が『ヒト』にだけ与えた本能がある、それは『喜ばれると嬉しいという本能』だ。」という一文に出会いました。子どもたちは、無意識のうちに様々な体験を積んでいます。それらの価値をわたしたち大人が伝えることで、子どもたちは大きく成長します。人と関わること、人に喜びを与えることは実は自分にも喜びをもたらすこと。そんなことを丁寧に子どもたちに伝えていきたいと思った素敵な行事でした。2学期も残すところ3週間余りとなりました。インフルエンザが猛威を振るっております。健康に安全に子どもたちが学校生活を過ごせますよう、引き続きご支援ご協力よろしくお願いたします。

